

豊岡市から ひとりも災害犠牲者を 出さないために。

防災マップ 編



国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所



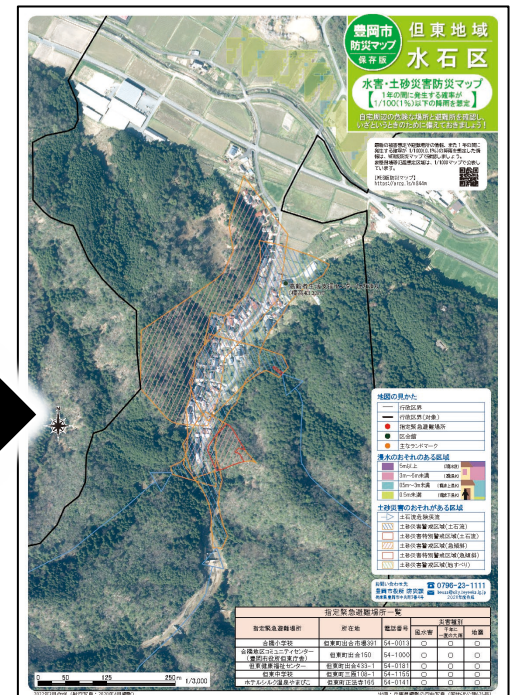
豊岡市

行政区・町内会ごとに、周辺で起こりうる災害傾向を確認できます

豊岡市役所ホームページから入手することができます。



※ 防災マップのファイルサイズが大きいいため、表示に時間がかかる場合があります。



計画規模

100年に1回程度の
大雨を想定

円山川流域
48時間の
総雨量327mm



想定最大規模

1000年に1回程度の
大雨を想定

円山川流域
48時間の
総雨量504.8mm



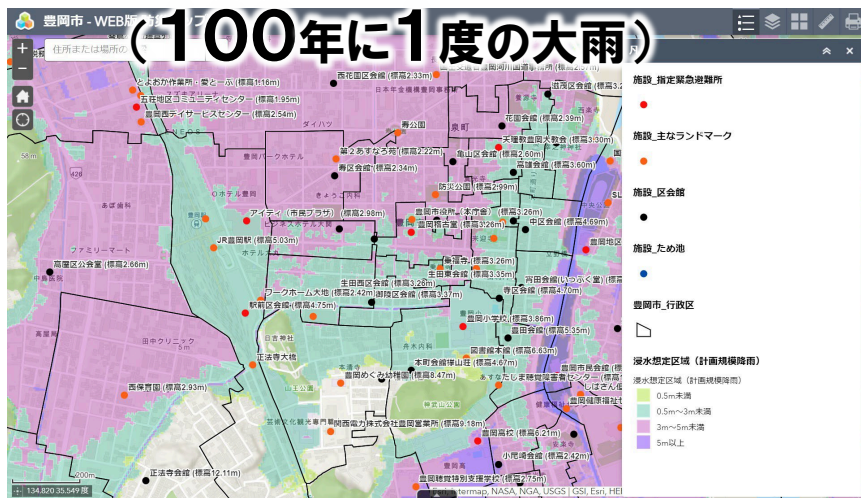
2つの想定がありますが、**豊岡市**では、**計画規模降雨**を採用し、**指定緊急避難場所**を定めるなど、**防災上の指針**としています。

パソコン等で様々な機能を使いながら表示が可能

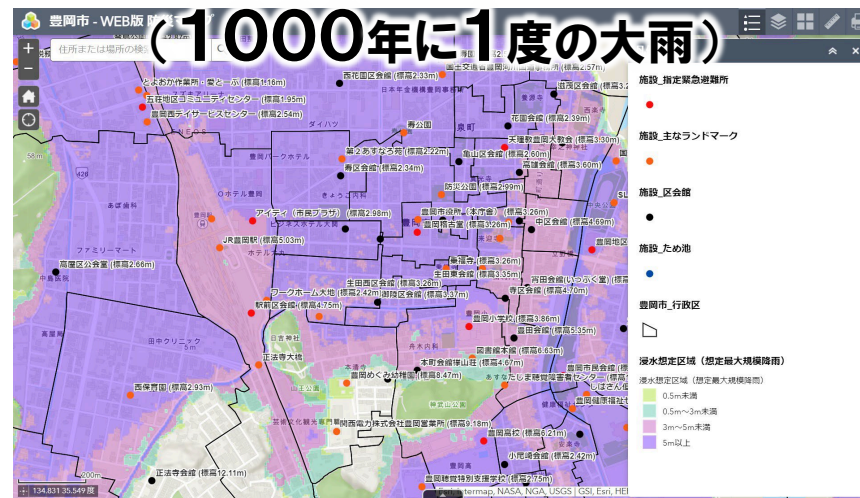
- 行政区毎の地図と異なり、パソコン等で様々な操作が可能
 - 地図の拡大・縮小、住所検索、災害想定を表示・非表示や距離の計測などが可能。
 - 洪水災害の想定別の表示切替が可能
 - :「計画規模降雨」と「想定最大規模降雨」の浸水想定区域
 - :家屋倒壊等氾濫想定区域は、WEB版防災マップの「想定最大規模降雨」で確認



計画規模降雨



想定最大規模降雨



地域の災害リスクを知る

行政区別防災マップで確認すべきこと

危険個所の
確認

安全と
考えられる場所
の確認



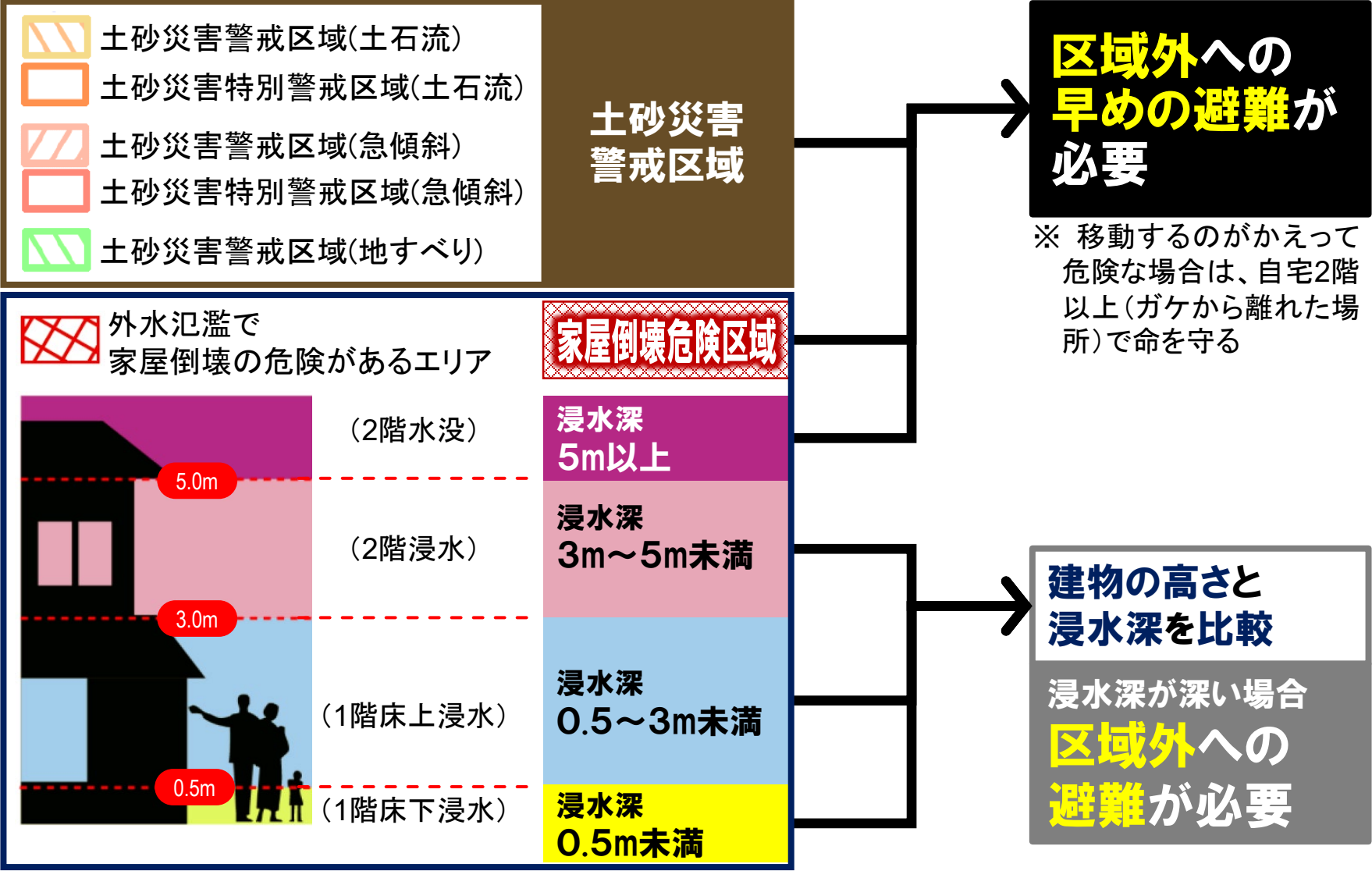
マップで確認し、行動を考える

- 自宅や隣保の周囲、避難経路にはどんな危険が潜んでいるのか
- 自分・家族は、「逃げべきか、留まることもできるか？」

自宅で安全が確保できる方は、危険を冒してまで、不便で不自由な避難場所へ行く必要はありません

防災マップの読み方

防災マップ記載情報から考える 自宅待機・自宅外避難判断フロー



※ 移動するのがかえって危険な場合は、自宅2階以上(ガケから離れた場所)で命を守る

防災マップを確認する上での**注意点**

- **広い視野を持って災害傾向を確認してください**

- 自宅だけでなく、自宅周辺や避難経路、勤務先・通学先、などの場所も確認しましょう。

- **「防災マップで危険性がない(色がついていない)」
＝「絶対安全」ということではありません**



- 洪水災害について

- 計画規模降雨(100年に一度の大雨)を採用して掲載しています。
- 想定の対象でない河川があります。(対象河川は兵庫県のホームページを確認してください。)
- **内水はん濫**(雨水が排水できずあふれること)は、**表示していません**。

- 土砂災害について:

- 土砂災害のおそれのある区域は、地質や地形などの**一定の基準以上の危険があると判定した区域**です。
- 住家がない、山道などの**土地の利用条件によっては、調査が行われていない可能性があります**。(危険な場所すべてに色がついているわけではありません)
- 土石流や流木に起因する河道閉塞によるはん濫は想定していません。

防災マップの情報から避難を考える



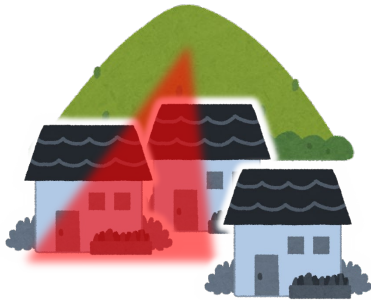
**想定浸水深は
3m未満**

※ 防災マップは堤防が決壊した場合の浸水を示したものです。
内水はん濫(雨水が排水できずあふれること)を想定した
防災マップはないため、
内水はん濫は、地域の皆さんの過去の経験が頼りになります。



洪水災害

- ：自宅に2階にいれば
命は助かる
- ：ただし、数日間の垂直避難が
困難な家族がいる場合には、
自宅外へ避難



**地区の山際では
土砂災害
警戒区域内に
含まれている**



土砂災害

- ：避難が必要
- ：土砂災害警戒区域に
含まれていない家庭でも、
2～3日孤立しても耐えられる備えと
覚悟のうえ、自宅避難。



もちろん洪水災害も危険ではあるが、**土砂災害の危険な方(土砂災害警戒区域にお住まいの方)の避難に絞って対策を行うことが効果的。**